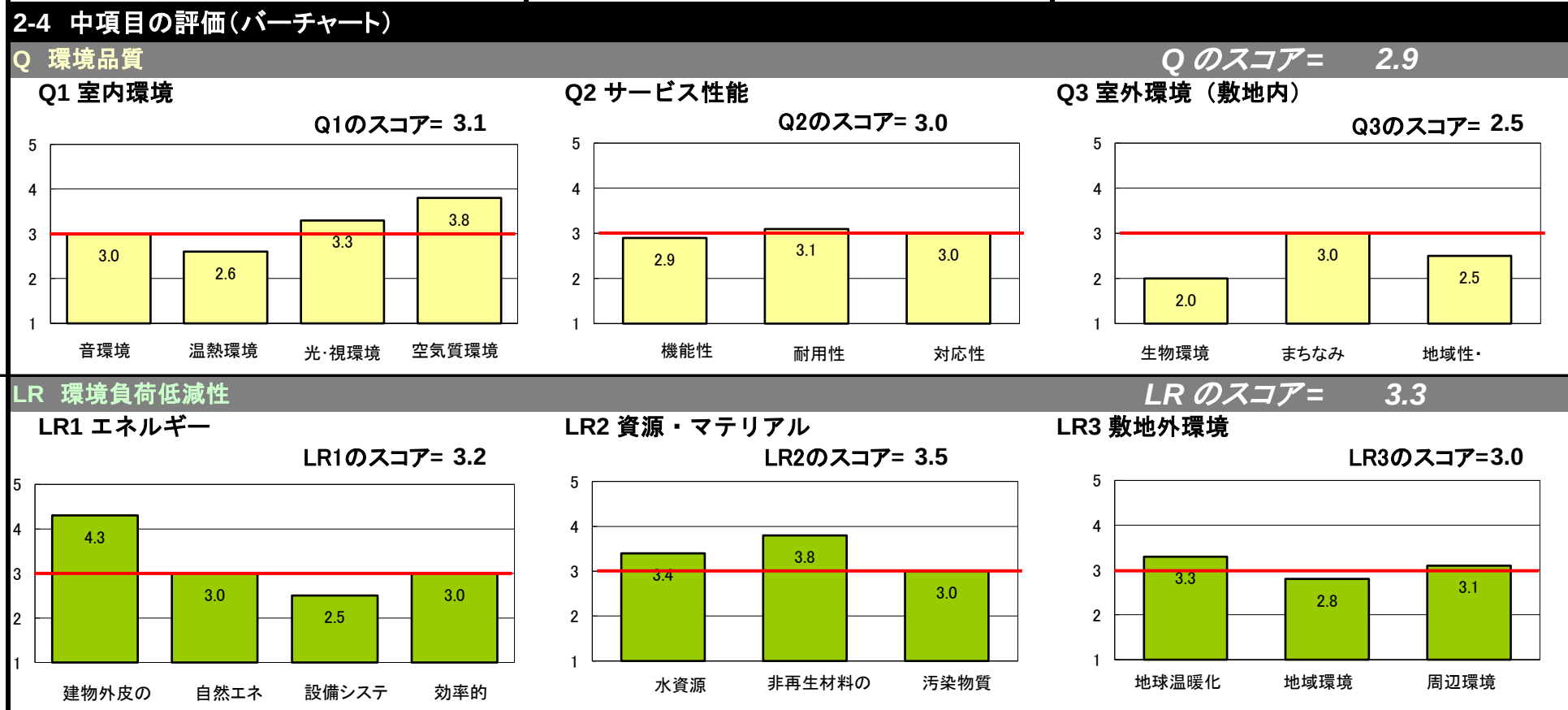
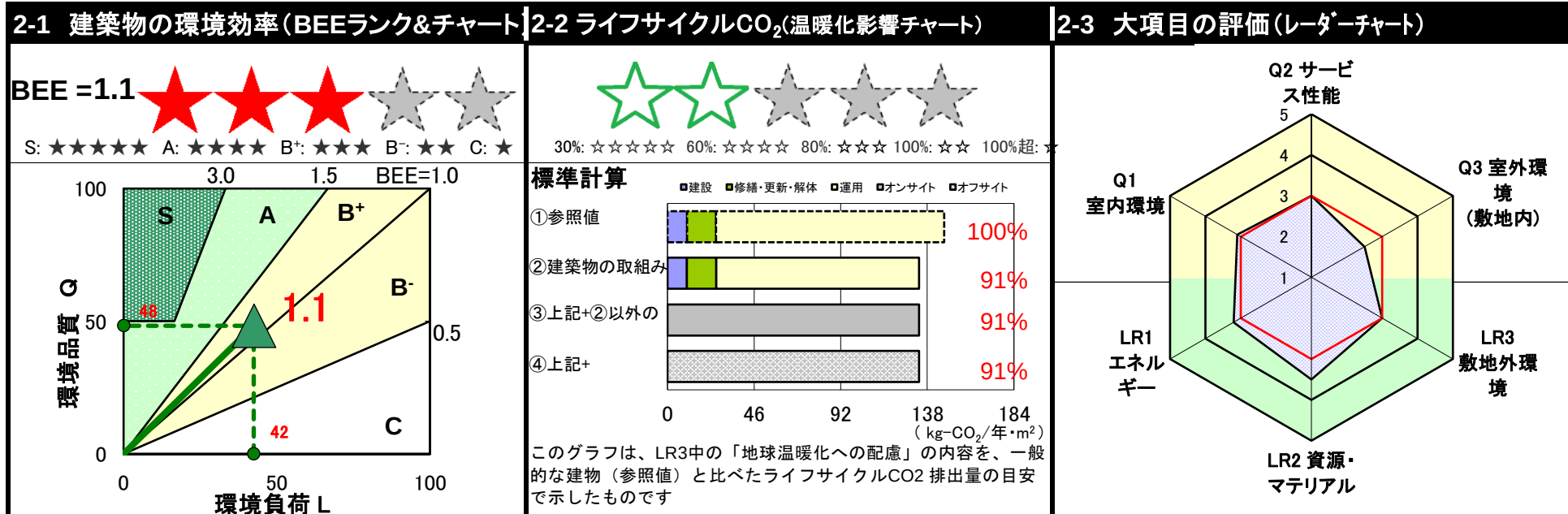


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)福友病院	階数	地下0階地上5階	
建設地	愛知県日進市北新町殿ヶ池上539-1他10筆	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	245 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年1月28日	
敷地面積	4,321 m ²	作成者	豊三建築設計事務所 鈴木 豊三	
建築面積	1,107 m ²	確認日	2022年1月28日	
延床面積	5,311 m ²	確認者	豊三建築設計事務所 鈴木 豊三	



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	
3.3	2.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
		27.9 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
		0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	
3.4	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料>
		なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境						0.40			-	3.1
1 音環境				0.1	3.0	0.15	3.0	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
1.2 遮音				0.4	3.0	0.40		3.0	0.40	
1		開口部遮音性能			3.0	0.40		3.0	0.30	
2		界壁遮音性能			3.0	0.60		3.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		3.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				-		3.0	0.20	
1.3 吸音				-	3.0	0.20		3.0	0.20	
2 温熱環境				0.3	2.6	0.35	2.6	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	
1		室温		3.0	3.0	0.38		3.0	0.57	
2		外皮性能		3.0	3.0	0.25		3.0	0.43	
3		ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.38			-	
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20		1.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		3.0	0.30	
3 光・視環境				0.2	3.3	0.25	3.3	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用				0.3	4.2	0.30	4.2	4.2	0.30	
1		昼光率	共用部分14%、居室部分2.9%	3.0	5.0	0.60		5.0	0.60	
2		方位別開口		-		-			-	
3		昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 グレア対策				0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	
1		昼光制御		3.0	3.0	1.00		3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25		3.0	0.25	
4 空気質環境				0.2	3.9	0.25	3.7	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策				0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63	
1		化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00	
4.2 換気				0.3	3.0	0.30	3.3	3.3	0.38	
1		換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
2		自然換気性能	自然換気性能:0.0838	3.0		-		4.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
4.3 運用管理				0.2	5.0	0.20			-	
1		CO ₂ の監視		3.0		-			-	
2		喫煙の制御	全館禁煙	3.0	5.0	1.00			-	
Q2 サービス性能					-	0.30		-	-	
1 機能性				0.4	2.4	0.40	4.0	4.0	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60	
1		広さ・収納性	(居室部分)個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上	3.0		-		5.0	1.00	
2		高度情報通信設備対応		3.0		-			-	
3		バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00			-	
1.2 心理性・快適性				0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40	
1		広さ感・景観 (天井高)	天井高2.5m以上	3.0		-		4.0	0.50	
2		リフレッシュスペース		3.0		-			-	
3		内装計画		3.0	1.0	1.00		1.0	0.50	
1.3 維持管理				0.3	3.0	0.30			-	
1		維持管理に配慮した設計	取り組みにおいて該当する項目数が標準以上である	3.0	4.0	0.50			-	
2		維持管理用機能の確保			2.0	0.50			-	
2 耐用性・信頼性				0.3	3.1	0.31			-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48			-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.80			-	
2		免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.20			-	
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.4	0.33			-	
1		躯体材料の耐用年数	②		3.0	0.23			-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	床VS.天井VC		3.0	0.23			-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.09			-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08			-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.15			-	
6		主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23			-	
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19			-	
1		空調・換気設備	②	3.0	3.0	0.20			-	
2		給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20			-	
3		電気設備		3.0	3.0	0.20			-	
4		機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20			-	
5		通信・情報設備		3.0	2.0	0.20			-	

3 対応性・更新性					0.2	3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			②		0.3	3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	3.0	0.60		3.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					0.3	3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性					-	3.0	0.17		-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	3.0	0.17		-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	3.0	0.11		-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	3.0	0.11		-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.22		-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	3.0	0.22		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			独自③		-	2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			-	2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-				-	3.3
LR1 エネルギー						-	0.40		-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.87		3.0	4.3	0.30		-	4.3
2 自然エネルギー利用						3.0	3.0	0.20		-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.89		3.0	2.5	0.30		-	2.5
4 効率的運用						0.2	3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価						1.0	3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング						3.0	3.0	0.50			
4.2 運用管理体制						3.0	3.0	0.50			
集合住宅の評価						-	-	-		-	
4.1 モニタリング						-	-	-		-	
4.2 運用管理体制						-	-	-		-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30		-	-	3.5
1 水資源保護						0.1	3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水				節水コマに加えて、省水型機器を用いている		3.0	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						0.6	3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減						0.6	3.8	0.63		-	3.8
2.1 材料使用量の削減			② 独自	-	2.0	0.07		-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					-	3.0	0.21		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					ビニル床シート「エスリュームプラス」タイルカーペット「NT-700」タイル「ピアッツアOXシリーズ」	3.0	5.0	0.21		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		独自			躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	3.0	5.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						0.2	3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避						0.6	3.0	0.68		-	
1 消火剤						-	-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)						-	3.0	0.50		-	
3 冷媒						3.0	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境						-	0.30		-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率=91%		-	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮						0.3	2.8	0.33		-	2.8
2.1 大気汚染防止						-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善						-	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						0.2	2.2	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		独自				-	3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制						-	3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		独自				-	2.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制						-	1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮						0.3	3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						0.4	3.0	0.40		-	
1 騒音		独自				-	3.0	1.00		-	
2 振動		独自				-	-	-		-	
3 悪臭						-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						0.4	3.0	0.40		-	
1 風害の抑制						-	3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	1.0	-		-	
3 日照阻害の抑制						-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制						0.2	3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				広告照明なし		-	4.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						-	3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

(仮称)福友病院

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	3.4
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	2.0
③ 敷地内の緑化				
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:27.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア＝各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア＝重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア＝評価ポイントの合計＋1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 福友病院

計画上の配慮事項	
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。
Q1 室内環境	居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な昼光利用がされている。
Q2 サービス性能	建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。
Q3 室外環境(敷地内)	できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率＝91%
その他	特になし